

積聚會会報

積聚會通信

No.89

2018年4月号

新会長就任のお知らせ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

2018年4月1日より積聚會会長は原オサムとなり、現会長の小林詔司は名誉会長に就任いたします。

つきましては、ご挨拶を兼ねて本年7月に新会長就任披露式を催させていただきます。詳細は追ってお知らせいたします。

当会では、新体制のもと、積聚治療の発展に一層努めて参る所存でございます。今後とも倍旧のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新体制

会長 原オサム

副会長 加藤稔

副会長 中谷哲

名誉会長 小林詔司

新体制発足日

2018年4月1日

名誉会長と新会長

原オサム

新春早々大変な事件発生である。なんと小林詔司会長が積聚会会長を辞すると言うのである。自分を含め、新旧会員の皆さんには本当にショッキングなことでしょう！

思い起こせば小林先生を師範とした研究会、^{ひこばえ}薬鍼学会から約40年(積聚会としては2020年で40周年)、常に我々に教育的指導と東洋医学の探究・普及を牽引されてきた小林先生が会長を降りると言うのだから。

今後の積聚会はどうなっていくのか？ 指導は？ 治療の発展は？ ……と考えてしまうのも当然の事として、さらに厄介な問題は、この春からの新会長を私にと指名された事です。

皆さんの不安や不満は一層増して行くかもしれませんね。それは自分も一番自覚している事で、実績もなく、この約40年間、ただ小林先生を師と頼りながらその後ろを就いてきただけの私なのですから。

でも安心して下さい(どっかで聞いたフレーズ)。小林先生はとても元気で今後も名誉会長として、積聚会のための活動は継続されるとのこと。必ずや我々の中枢でいろいろと御指導いただけると思っています。

今までの先生の仕事量や活動の多忙さから考えれば、その負担を少しでも軽減する為にも、また当然の事として、我々がいつまでも頼ってばかり居るわけにも行かないという時期になったのだとも言えます。

この様な経緯の中で新会長就任をなんとか承諾した次第です。

ところで、私は小林先生と違い学究肌ではなく、強い求心力は到底ありません。せめて私がこれからの会のために考えられる事は、積聚治療を、そして会をさらに進展させて行く為の、多くの人材の発掘と育成であろうと思っています。

今後、積聚会も積聚治療もその根元は変わらずとも、新しく変化していく部分も必要となるでしょう。

さらに門戸を開いて様々な人達との交流をはかり、皆さんが活躍できる会でありたいと考えています。

どうか我と思う方は積極的に会に関わり、御協

力頂きたいと願っています。

新体制にむけて

加藤稔

積聚治療がこの世に生まれてはや40年を迎えようとしている折り、小林先生からこれからは若い世代の人材に積聚治療を委ねていきたいという旨の話の後の、御自身の引退、新体制の話が提案されました。

小林詔司先生が辛苦の中、腹部の「積聚」を基礎とした積聚治療の理論を構築しました。

積聚治療「気を動かし、冷えを取る」の著書の中で展開されている、鍼の世界・灸の世界・刺絡の世界・イメージの世界・意識の世界・易の世界等、それぞれの世界における積聚治療の「積の変化」を、患者の訴える「症状の変化」として示すことを追求する時と推測します。

アスリート、プロフェッショナルの世界に身を置く人々は、時間＝タイムに敏感になります。秒単位の世界に没入しています。その上で、メダルを獲得した時のあのシーンです。治療家も、タイムに対して敏感・真剣になり、また、行った施術の結果に如何に「感動」するかが大事なことと思います。

皆様のご指導ご鞭撻を受けながら、積聚治療の発展に努力していく所存です。

積聚会副会長就任に寄せて

中谷哲

この度、積聚会の会長が小林詔司先生より、原オサム先生に引き継がれますのと時を同じくして、積聚会の副会長を拝命する運びとなりました。何分未熟者ゆえ、皆様に多々ご迷惑をおかけすることになるかと思いますが、どうぞご指導ご鞭撻のほど、よろしく願い申し上げます。さて今回、積聚会が、このような役職の改変をすることになりましたのは、未来へ向けた会としての意思であります。患者には常に最善の治療を提供し、また次世代へ続く鍼灸師には最高の学びと共に技術を伝え、積聚治療として前進していくための布石の一つであると、ご理解いただければ幸いに存じます。今後とも、役員、スタッフ一同、どうぞよろしく願いいたします。

2018年度講習会 講師一言コメント

基礎Ⅰコース

北海道日曜クラス講師：鈴木美由紀

東洋的な思想の鍼灸治療である『積聚治療』の基本を北海道で学びましょう。まずは、鍼の扱い方や体の診方、触り方がとても大切になります。また、実際の治療と同じ手順、理論を確認しながら講習を行いますので、鍼灸師はもちろん、学生の方も安心してご参加いただけます。（5月20日開講）

東京土曜クラス講師：小幡智春

毫鍼の扱い方、体の変化の診方、積聚治療の手順を中心に学びます。手順を追って鍼をしていく中で体の変化を感じてもらい、治療の面白さを味わってもらえたらと思っています。（5月12日開講）

東京日曜クラス講師：田坂里織

積聚治療の基本である、鍼の扱い方、身体の診方を学んでいくコースです。一本の鍼が身体に与える影響を感じながら、基本治療の手順に沿って一つひとつ丁寧に進めていきます。何においても、基本は大事。まずは基本的な技術を磨いていきましょう。（5月6日開講）

基礎集中コース

講師：中谷哲

毎週水曜日の午前中に行います。半年間という短期間で集中的に、基礎Ⅰ、基礎Ⅱの内容を学んでいきます。2年間かけてじっくりと身に付けていくところを、毎週、濃密な積聚治療のシャワーを浴びていただき、今までの鍼灸に対する「意識」を変革させていきます。臨床家向けです。（5月9日開講）

基礎Ⅱコース

北海道日曜クラス講師：鈴木美由紀

基礎Ⅰコースで学んだ基本治療の技量を上げることはもちろん、適切な補助治療の選択を中心に学ぶこととなります。新たな指標の確認と病症に応じたツボをしっかりと覚え、実際に使っていくことで、どんな病名や症状にも対応できる「引出し」を増やしていきましょう。（5月20日開講）

東京土曜クラス講師：横山季之

基本治療で精気の虚が補いきれなかった場合に使う『補助治療』を主に学んでいくとともに、指標の触り方、正確な脈診、正確な腹診、正確な取穴など、基本的な技量も上げていきます。一緒に頑張りましょう！（5月19日開講）

東京日曜クラス講師：高橋大希

基本治療では精気の虚を補いきれなかった際に、補助として用いる手段が「補助治療」です。補助治療を用いる為には新たな「指標」も必要になります。基礎Ⅱクラスでは「補助治療」と新たな「指標」を学びます。（5月6日開講）

応用Ⅰコース

太子堂日曜クラス講師：高橋大希

精気の虚を補う積聚治療の上達に欠かせないものが二つあります。一つ目に、精気の虚の「原因」を探る四診テクニックを身に付けること、二つ目に、精気の虚の「程度」を把握して治療法式と道具と補助治療の選択ができること。この二つが学べるのが応用Ⅰクラスです。（5月6日開講）

事務局日曜クラス講師：森孝史

基礎コースで習得した基本治療・補助治療を通して、病の原因（精気の虚の原因）を追求できるようにレベルアップしていきましょう！（5月13日開講）

応用IIコース

講師：原オサム

応用II講習会は、積聚治療講習会全過程の最終コースです。全治療過程の総仕上げに加え、毎回の站椿功及び外傷性の影響に起因した瘀血処置のテクニック、また、その器具の取り扱い等の習得が中心になる予定です。治療理論ばかりを知って安心するのではなく、実際のような病状にも対応できるように、技量を高めて頂きたいと思います。(4月14日開講)

臨床研修コース

講師：中谷哲

毎週水曜日の午後2時から7時まで、実際の外来患者を受け入れながら、臨床に必要なすべての要素を学んでいきます。患者の受け入れ、問診、誘導、ベッドメイク、治療の助手等、また、その間、研修生どうして治療を仕合い、お互いの技術の向上を目指して講師から指導も受けられます。臨床の場を肌で感じたい、更に技術を磨きたい人向けです。(5月9日開講)

臨床実技コース

藤原典往クラス講師：藤原典往

積聚治療での臨床を通して気付いた、治療のコツや基本治療の生かし方など、皆で検討し合いながら講義をすすめていきます。(5月19日開講)

加藤稔クラス講師：加藤稔

「積の変化」を人体の三態の固体(筋肉等)部分にしぼり、「イメージ」による組み立て方法を実技でつかむことと、站椿功の練磨で「気」の体感をテーマにする。(5月13日開講)

易経入門講座

講師：藤原典往

易の中に森羅万象の原理が隠れています。まずは占いを通じて学んでいきますが、治療の中で使えるよう、時間をかけて取り組んでください。(4月21日開講)

カレンダー

今後の予定

積聚会新会長披露式

7/16(月・祝)

新宿ワシントンホテル本館

夏期学生セミナー

8/4(土)～5(日)

東京衛生学園

終了しました

積聚会学術大会

2/11(日)～12(月・祝)

積聚治療説明会

東京会場

3/21(水・祝)

北海道会場

3/24(土)

北海道春期セミナー

3/25(日)

編集後記

2018年度最初の『積聚会通信』は恒例の講師コメント、そして新体制についてのお知らせです。他の号では連載記事やセミナー報告などをお届けしています。入会された折には是非お読みください。(桂田)

発行元：積聚会事務局

〒135-0001 東京都江東区毛利 2-9-18 グリーンパーク錦糸町 102

TEL・FAX：03-6659-9098

URL：<http://shakuju.com> E-mail：office@shakuju.com

郵便振替口座 番号：00170-2-441101 名前：合同会社積聚会

